

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材」（がんプロフェッショナル）養成プラン

ゲノム医療対応多職種養成コース （インテンシブ）

2019年度

募集要項

近畿大学大学院医学研究科

ゲノム医療対応多職種養成コース（インテンシブ）

<コース概要>

多職種（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、ソーシャルワーカー等）を対象に、臨床現場実装されるがんゲノム医療推進のために必要な基礎知識の取得を目的とします。修了者にはゲノム医療に強い多職種がん専門医療人養成コース修了証を授与します。

<到達目標>

- ・クリニカルシーケンスをはじめとした分子腫瘍学の理解を深める。
- ・ゲノム医療に特化したがんのチーム医療が実践できる。

1. 研修の専門分野
腫瘍内科学、ゲノム医療
2. 募集期間
随時受入（入学より1年間）
3. 講義・実習内容
講義もしくは実習をあわせて合計5時間以上

■講義

- ① がんプロ学内講義（月1回開催）の参加（1回90分）
- ② 7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン『がんゲノム医療スキルアップセミナー』（年1～2回）の受講（1回150分）
- ③ 近畿大学医学部附属病院『がん薬物療法研修』年1回の受講（1回120分）
- ④ 厚生労働省委託事業『がんゲノム医療コーディネーター研修会』の受講（2日間約12時間）
- ⑤ 大阪オンコロジーセミナー Meeting the Cancer Experts への参加（1回90分）

■実習

- ① 大学病院がんセンターあるいは連携病院の薬物療法部門において実際に臨床試験参加がん患者を担当して化学療法を実践する。
- ② 臓器・職種横断的症例検討会に参加してがん患者の治療方針の決定過程を学習し、臨床試験のインフォームド・コンセントと治療の選択、治療中の患者の管理方法を体得する。
- ③ ゲノム医療に特化したがんのチーム医療を実践する。

上記講義および実習から選択し、5時間以上の出席をもって、修了要件とする。

4. 成績評価（修了要件）
講義：ゲノム医療学の基礎知識の学習が十分であることを評価する。
実習：臨床実習の内容、成果を適切な方法で評価する。
5. 受講料
無料。ただし、講義や実習の受講に係る大学や連携病院等までの交通費・宿泊費等は各自で負担いただきます。
6. その他
受講期間中は指導教員の指示に従って実習等を行っていただきます。また、受講生の故意又は過失による事故については、本学は一切責任を負いません。

<募集内容>

1. 募集人数

若干名

※書類選考を行います。選考後1ヶ月を目途に可否を郵送にて通知いたします。

2. 募集対象

ゲノム医療に興味のあるがん専門医療人

3. 申込み期間

随時（毎月15日締切）

※選考終了の翌々月から受講可能となります（例：2月15日までに申込み→4月1日より受講可能）。

※コース在籍期間は、受講開始日より1年間となります。

4. 提出書類（提出書類は、ご連絡頂きましたらフォーマットをメールにて送付いたします。）

① 研修願

② 履歴書

③ 誓約書

④ 勤務先の承諾書（被雇用者のみ）

⑤ 医師免許証（写）

⑥ 保険医登録票（写）

⑦ 看護師免許証（写）

⑧ 薬剤師免許証（写）

⑨ 臨床検査技師免許証（写）

⑩ 診療放射線技師免許証（写）

⑪ 社会福祉士免許証（写）

※⑤～⑪は各自の職種で該当するものとする。⑥は医師のみ

⑫ 感染症抗体検査結果ならびにワクチン接種状況証明書

5. 申込み方法

封筒おもてに「ゲノム医療対応多職種養成コース（インテンシブ）申込書在中」と明記して下記申込み先までご送付ください。

6. 申込み・お問い合わせ先

近畿大学医学部・病院事務局 学務課（がんプロ事務局）

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2 TEL: 072-366-0221

*受講内容等に関するお問い合わせ

近畿大学医学部 内科学講座腫瘍内科部門

教授 中川 和彦（なかがわ かずひこ）

E-mail: ganpro@med.kindai.ac.jp

※受講を希望される方は事前にメールにて教員への連絡をお願いいたします。

教育プログラム・コースの概要

大学名等	近畿大学医学部
教育プログラム・コース名	ゲノム医療対応多職種養成コース（インテンシブ）
対象者	多職種（医者、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、ソーシャルワーカー等）を対象
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	多職種（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、ソーシャルワーカー等）を対象に、臨床現場実装されるがんゲノム医療推進のために必要な基礎知識の取得を目的とする。 <到達目標> ・クリニカルシーケンスをはじめとした分子腫瘍学の理解を深める。 ・ゲノム医療に特化したがんのチーム医療が実践できる。
修了要件・履修方法	修了要件 講義：ゲノム医療学の基礎知識の学習が十分であることを評価する。 実習：臨床実習の内容、成果を適切な方法で評価する。 履修方法 指定された講座やセミナー及び指定された実習に、合計5時間以上参加する。
履修科目等	講義 ①がんプロ学内講義（月1回、1回90分） ②7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン『がんゲノム医療スキルアップセミナー』（年1～2回、1回150分） ③近畿大学医学部附属病院『がん薬物療法研修』（年2回、1回120分） ④厚生労働省委託事業『がんゲノム医療コーディネーター研修会』の受講（2日間約12時間） ⑤大阪オンコロジーセミナー Meeting the Cancer Expertsへ（月1回、1回90分） 実習 ①模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習の参加（2日間で12時間） ②患者へ遺伝子パネル検査を用いたゲノム医療のIC体験（1回60分） ③パラフィン包埋切片を使用し、DNA/RNA抽出、ライブラリー作成、遺伝子パネル検査までの一連の作業工程の把握・実践（1回120分）※1週間程度 ④遺伝子パネル検査のExpert Panelメンバーとして、NGS解析レポートの作成（1回120分） ⑤患者への解析結果説明（1回60分） ⑥家族性腫瘍が疑われる場合の、適切な遺伝カウンセリングの実践（1回60分） ⑦腫瘍内科開催の治験カンファレンスへの参加（1回60分） ⑧腫瘍内科開催のがん治療カンファレンスへの参加（1回60分） ⑨各種カンサーボードへの参加（1回60分） ⑩緩和ケアチーム回診への参加（1回60分）
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	がんの基礎・臨床研究を有機的に融合したプログラムを用い、実践的ながんゲノム医療の基礎知識に精通したがん研究者を養成する。

指導体制	がん薬物療法専門医、がん看護専門看護師、がん専門薬剤師等からなる多職種が協働しつつ、ゲノム生物学教室と協力することでクリニカルシーケンスをはじめとしたがんゲノム医療学の理解を深められるよう教育体制をとっている。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	大学病院や関連施設（またはがん専門医療施設やがん診療連携拠点病院等）でがん診療に従事する中で、ゲノム医療の視野から当事者支援を行うことができる。
受入開始時期	平成31年4月

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン

がん免疫医療対応多職種養成コース (インテンシブ)

2019 年度

募集要項

近畿大学大学院医学研究科

がん免疫医療対応多職種養成コース（インテンシブ）

<コース概要>

多職種（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、ソーシャルワーカー等）を対象に、臨床現場実装されるがん免疫医療推進のために必要な基礎知識の取得を目的とします。修了者にはがん免疫医療に強い多職種がん専門医療人養成コース修了証を授与します。

<到達目標>

- ・がん免疫治療の分子メカニズム、承認がん腫、有効性および有害事象(免疫関連有害事象を含む)、及び未承認がん腫に於ける開発治験の情報について理解を深める。
- ・がん免疫医療に特化したがんのチーム医療が実践できる。

1. 研修の専門分野

腫瘍内科学、がん免疫医療

2. 募集期間

随時受入（入学より1年間）

3. 講義・実習内容

講義もしくは実習をあわせて合計5時間以上

■講義

- ① がんプロ学内講義（月1回開催）の参加（1回90分）
- ② 近畿大学医学部附属病院『がん薬物療法研修』年2回の受講（1回120分）
- ③ 市民公開講座（年1回開催）の受講（1回150分）
- ④ 大阪オンコロジーセミナー Meeting the Cancer Experts への参加（1回90分）

■実習

- ① 大学病院がんセンターあるいは連携病院の薬物療法部門において実際に臨床試験参加がん患者を担当して化学療法を実践する。
- ② 臓器・職種横断的症例検討会に参加してがん患者の治療方針の決定過程を学習し、臨床試験のインフォームド・コンセントと治療の選択、治療中の患者の管理方法を体得する。
- ③ がん免疫医療に特化したがんのチーム医療を実践する。

上記講義および実習から選択し、5時間以上の出席をもって、修了要件とする。

4. 成績評価（修了要件）

講義：臨床腫瘍学の基礎知識の学習が十分であるかを評価する。

実習：臨床実習の内容、成果を適切な方法で評価する。

5. 受講料

無料。ただし、講義や実習の受講に係る大学や連携病院等までの交通費・宿泊費等は各自で負担いただきます。

6. その他

受講期間中は指導教員の指示に従って実習等を行っていただきます。また、受講生の故意又は過失による事故については、本学は一切責任を負いません。

<募集内容>

1. 募集人数
若干名
※書類選考を行います。選考後1ヶ月を目途に可否を郵送にて通知いたします。
2. 募集対象
がん免疫医療に興味のあるがん専門医療人
3. 申込み期間
随時（毎月15日締切）
※選考終了の翌々月から受講可能となります（例：2月15日までに申込み→4月1日より受講可能）。
※コース在籍期間は、受講開始日より1年間となります。
4. 提出書類（提出書類は、ご連絡いただきましたらフォーマットをメールにて送付いたします。）
 - ① 研修願
 - ② 履歴書
 - ③ 誓約書
 - ④ 勤務先の承諾書（被雇用者のみ）
 - ⑤ 医師免許証（写）
 - ⑥ 保険医登録票（写）
 - ⑦ 看護師免許証（写）
 - ⑧ 薬剤師免許証（写）
 - ⑨ 臨床検査技師免許証（写）
 - ⑩ 診療放射線技師免許証（写）
 - ⑪ 社会福祉士免許証（写）
※⑤～⑪は各自の職種で該当するものとする。⑥は医師のみ
 - ⑫ 感染症抗体検査結果ならびにワクチン接種状況証明書
5. 申込み方法
封筒おもてに「がん免疫医療対応多職種養成コース（インテンシブ）申込書在中」と明記して下記申込み先までご送付ください。
6. 申込み・お問い合わせ先
近畿大学医学部・病院事務局 学務課（がんプロ事務局）
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2 TEL：072-366-0221

*受講内容等に関するお問い合わせ
近畿大学医学部内科学講座腫瘍内科部門
教授 中川 和彦（なかがわ かずひこ）
E-mail：ganpro@med.kindai.ac.jp

※受講を希望される方は事前にメールにて教員への連絡をお願いいたします。

教育プログラム・コースの概要

大学名等	近畿大学医学部
教育プログラム・コース名	がん免疫医療対応多職種養成コース（インテンシブ）
対象者	多職種（医者、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、ソーシャルワーカー等）を対象
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	多職種（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、ソーシャルワーカー等）を対象に、臨床現場実装されるがんゲノム医療推進のために必要な基礎知識の取得を目的とする。 <到達目標> ・がん免疫治療の分子メカニズム、承認がん腫、有効性および有害事象(免疫関連有害事象を含む)、及び未承認がん腫に於ける開発治験の情報について理解を深める。 ・がん免疫医療に特化したがんのチーム医療が実践できる。
修了要件・履修方法	修了要件 講義：がん免疫治療の基礎知識の学習が十分であることを評価する。 実習：臨床実習の内容、成果を適切な方法で評価する。 履修方法 指定された講座やセミナー及び指定された実習に、合計5時間以上参加する。
履修科目等	講義 ①がんプロ学内講義（月1回、1回90分） ②近畿大学医学部附属病院『がん薬物療法研修』（年2回、1回120分） ③市民公開講座（年1回開催）の受講（年1回、1回150分） ④大阪オンコロジーセミナー Meeting the Cancer Expertsへ（月1回、1回90分） 実習 ①模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習の参加（2日間で12時間） ②がん患者に対する免疫医療のIC体験（1回60分） ③imNETメンバーの参画（1回60分） ④腫瘍内科開催の治験カンファレンスへの参加（1回60分） ⑤腫瘍内科開催のがん治療カンファレンスへの参加（1回60分） ⑥各種カンサーボードへの参加（1回60分） ⑦緩和ケアチーム回診への参加（1回60分）
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	免疫チェックポイント阻害剤の基礎的知識の取得、有害事象のマネージメント等について理解を深め、実践的ながん免疫医療に精通したがん医療従事者を養成する

指導体制	がん薬物療法専門医、血液専門医、放射線腫瘍専門医等からなる専門医チームが臨床研修指導および基礎研究指導を行い、がん免疫医療学の理解を深められるよう教育体制をとっている。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	がん免疫医療の基礎知識を有する医療従事者として、大学病院や関連施設（またはがん専門医療施設やがん診療連携拠点病院等）でチーム医療実践に適切な診療支援を行えることができる。
受入開始時期	平成31年4月